

1年1組

「小学校たんけん→大学たんけん」

入学から小学校の生活に興味をもち、学校内の施設や先生たちについて調べました。分かったことを出し合っているうちに、登下校の途中にある、大きな階段教室の見える「神奈川大学」に興味をもちました。そこで、大学の見学をさせていただくことになりました。初めて足を踏み入れる大学で、小学校と大学の施設の違いを知りました。また、大学生へのインタビューから、学び方の違いも知ることができました。今、小学校で学んでいることが基礎となり、大学では、専門的な学びをしていることや学び方の違いに驚いていました。みなとみらい本町小学校と神奈川大学を比較して、分かったことを神奈川大学の学園祭で発表しました。さらに、まちの方にも小学校生活を紹介したり大学との違いを説明したりすることができました。

みなとみらいには、本校を始め、みなで学べる施設があり、進学や学ぶことへの希望をもつことができました。



1年2組

「あきのクローバー」

これまでの季節遊びの活動を通して、子ども達は夏と秋との“違い”に気付くことができました。クラスで話し合いを通して、子ども達は、もっと秋のことを知って楽しく遊んだり、秋となかよしになりたいと考え、町の公園に探検に行くことになりました。

公園に行くと、様々な秋の宝物（落ち葉や気持ちいい風）を見つけることができました。子ども達は、この秋の宝物を使った遊びを考えることにしました。

風を利用した凧は、どのようにしたら上手に飛ぶのか、葉っぱや木の実はどのようにしたら楽しく遊ぶことができるのかを上級生やお家の方にアドバイスをもらいながら試行錯誤を繰り返しました。

「みな」と「みらい」を語る会では、秋のよさや面白さを感じて、季節ならではの自然物を利用する楽しさを伝えることができました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



1年3組

「おはないっぱいだいさくせん

～きらきらみんなでえがおをさかせよう～

花の栽培活動を経験した子どもたちは、「きれいなお花が咲くと嬉しい気持ちになるね。今度は、全校のみんなもお花から元気をもらえるようにお花を育てたいな。」と思いを膨らませました。秋に種から育てられる花を調べるとともに、「今度の1年生にも笑顔になってほしい。」とパンジーとチューリップを植えることになりました。

しかし、花壇への植え付けの方法や寒くなってきた時期にはどのように世話をしたらよいか、自分たちだけでは解決できませんでした。そこで、横浜市環境活動支援センターの方に来てもらい、花壇への植え付けの方法や今後の世話の仕方について教えてもらいました。

植物の様子を見ながら世話をすることや植物が元気に育つ方法についてなど、教えてもらったことを生かして植物の成長を楽しみながら愛着をもって育てました。花壇に植え付けをした後は、全校に植物が生活を豊かにすることを伝え、大事に育てた花を見て楽しんでもらいました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



2年1組

「大盛りサラダ！」

生活科の時間で、1年生のときの花の栽培活動の経験を振り返ると、児童から自然と「野菜作りにも挑戦したい。」との声があがりました。

始めに、プランターの設置や土作りの計画を立てました。栽培の仕方について、上級生や校内職員にインタビューしました。さらに、横浜市内の農家の方に来校いただいて助言をもらい、夏野菜の収穫を体験しました。この活動では、児童の野菜への愛着が育かれました。

また、たくさん収穫できた野菜の使い道について話し合い、栄養教諭とも連携し、給食に入れてもらうことになりました。

冬野菜の栽培では、野菜を育てるだけでなく、如何にして美味しく食べるかという視点も取り入れて活動しました。自分たちが考えた美味しい食べ方を、これまで関わってきた人や1年生にも伝えていきました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



2年2組

「みなとみらいのまちを大はっ見」

普段生活している、みなとみらいの町。お気に入りの場所を出し合ってみると、実は行ったことのないところがいっぱいあることに気づきました。みんなに人気の公園はどこ？行ってみよう！とたんけんの計画を立てることにしました。

名前は知っているけど中の様子はよく知らないという人が多かった臨港パーク、学区が離れているため行ったことがないという北仲公園、日本丸メモリアルパークにも公園があるらしい、ラッパ公園ってどこにあるの？みんなでたんけんして、何があるか、どんな人がいるのか見てみると、この町がどんな町なのか少しずつ分かってきました。

ここは海があって危ないから警備員さんがいるんだよ、ここは子どもが遊ぶ公園じゃなくて大人が散歩するところだね、みなとみらいって海に関係するものが多いんだね、お休みの日には住んでいる人だけじゃなくて買い物や観光に来る人が公園を使うよ、などたくさんの発見から、みなとみらいの町を自慢に思うとともに、みんながいつも遊んでいる高島中央公園がやっぱり大好きになりました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



2年3組

「ガラクタおもちゃミュージアム」

図工の授業や係活動の後に教室に溢れるゴミ。果たしてこれはゴミなのだろうか…？ゴミとしてただ捨てるだけではなく、ガラクタとして活用できないかという思いから、家や学校にあるガラクタのコレクションをスタートしました。

様々なガラクタに触れる中で、いろんな遊びや動くおもちゃを開発しました。ただのゴミだと思っていたガラクタでも様々な工夫をすることで、楽しい時間を生み出すことができることを発見し、自分たちが作ったガラクタおもちゃの魅力をプレゼンテーションしました。

しかし、楽しい時間の後に、活用しきれないガラクタや、遊びきったガラクタおもちゃがあることに気がきました。ガラクタのその後についても、考えを交流したり調査をしたりしたことで、「つくる責任、つかう責任」は自分たちにも関係することを考えました。



3年1組

「みんなが楽しめるまち みなとみらい」

みなとみらいの人たちが楽しい気持ちになれるような活動がしたいと考えました。

そこで、まちの特徴や課題を調べるためにフィールドワークをしました。すると、まちにはたくさんの人たちが楽しめるような場所や店がたくさんありました。教室に戻って話し合うと、本当に色々な人にとって、楽しいまちになっているか疑問に思いました。

まずは、自分たちが正しく理解するために様々な立場の方に話を聞きました。障害を持つ方々に来てもらい話を聞いたり視覚聴覚に頼らないスポーツを体験したりすることを通して、自分たちにできることを考えました。その体験から視覚や聴覚に頼らず、手触りや匂いを使った活動だと、だれもが楽しめるのではないかと考えました。これまでの活動から、みんなの庭にある柑橘やハーブの香りを楽しんでもらったり、ゴールボールで一緒に楽しめたりすることを発信しました。



3年2組

「困っている人を助けよう！ ～MMH お助けプロジェクト！～」

今よりもっと明るく、過ごしやすい学校をつくる活動をしたと考え、学校で困っていることを解決していくことにしました。その中で課題に挙げられたのが「雑草問題」です。実際に、自分たちも学校の雑草抜きを体験しました。活動を終えて広い範囲を少ない人数で抜くことは、体力も時間もかかることが分かりました。

そこで、少しでも雑草を抑えることはできないかと調べる活動を通して、自分たちにできることはないか考えました。調べている中で、雑草をなくすことはできないことが分かり、この問題を解決することができるのか、立ち止まってしまいうこともありました。

そこから、雑草が多く生えている所に花を植えることで、発生を抑えるようにしました。全校に向けて、自分たちが取り組んできたことを発信し、今後も困っていることがあったら解決したいと思いをふくらませていきました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



4年1組

「みんなで守ろう！世界の海と生き物を」

私たちが感じるまちの課題。それは、「海が汚れている」「ごみが多い」「たばこ」の3つでした。「本当に海は汚れているの？」「ごみはたくさん落ちているの？」との課題をもって、臨港パークで海のごみについて調査をしました。

すると、潮入りの池では、予想外にスジエビやカニなどたくさんの生き物がいることがわかりました。さらに、ハゼ釣りをしてみると、多い人で10匹以上のハゼが釣れました。

実際に調査してみると、生き物はたくさんいることを知りました。また、干潮の時間帯では、予想通りに「プラスチックごみ」や「たばこ」がたくさんあることもわかりました。

活動を通して分かってきたことを、東京湾大感謝祭やアマモメッセンジャーなどのイベントで発表をしました。発表を終えてからも、もっと多くの人に、海的环境や課題を知ってもらい、一緒に海や生き物を守っていきたくないと活動しました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



4年2組

「リメイク工房4の2」

社会科の学習からごみを減らすことの大切さを学び、自分たちにできることは何かを考え、布のアップサイクルをすることになりました。

着物のアップサイクルしている方に「押絵」という技法を教えていただき、これならどんな年齢の方でも取り組めるのではと考えました。そして、大学の文化祭に参加してアップサイクルの大切さを伝えることができました。体験した方から「無駄がないことに感動した。」と声を掛けていただきました。

そこから、お菓子の空袋などでカバンを作ったり古布でエコバッグを作ったりしようと考えました。

ごみを減らす方法もアップサイクルの方法も一つではないということが分かり、自分たちにできることを考えました。これからも楽しくごみを減らしていく方法を工夫し、伝えていきたいと考えました。

12 つくる責任
つかう責任



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



5年

「世界を笑顔に！ 校歌プロジェクト！」

開校5周年、みなとみらい本町小に私たちの新しい校歌を作りたいと考えました。

自分たちの学校の良さや、まちのよさ、そして世界中を笑顔にできるような歌にしたいと東京スクールオブミュージックさんに協力を依頼し、活動をスタートさせました。

世界を笑顔にしていきたいという思いからモンゴルの小学校との交流が始まりました。2回の交流を重ね、少し違う考えがあったり違った生活を送っていたりと色々なことに気付きました。

そんな中でもみんな笑顔でいたい、平和な社会を望んでいることは変わらないことに気付きました。

世界の誰もが笑顔になれるような校歌、そしてこれからもこの学校の伝統となる校歌を作りました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



6年

「ぼくたち・わたしたちが考える SDGs」

みなとみらい本町小学校で学んできた SDGs の番号ごとにグループを形成し、子どもたちが課題を設定して探究活動を行いました。

みなとみらいのまちに視点をあてたもの、自分たちの将来へのつながりを考えたもの等、様々な視点で活動を進め、港湾局とともに海の豊かさについて考えたり、大学生とともに地域マップを作成したりと、地域とも連携しながらより深い話題にまで活動が発展していきました。

「みな」と「みらい」を語る会でこれからの社会において大事にしていきたいことを、それぞれの SDGs 番号の視点で保護者の方々や在校生とともに考えました。

小学校生活最後の授業参観では、本校で学習した SDGs のまとめとして、各番号の「これからの社会において大切にしていきたいこと」を標語としてまとめました。

